

## ～子供たちへの贈り物：四万十川～

〈四万十川対策室〉

21世紀まで1000日を切る年となりました。皆様は、21世紀の扉をどこで開かれますか？高知の新しいなが—四万十川流域で悠久の流れに身をまかせながら、静かに時を刻んでみませんか。

本年は四万十川にとっても新たなページを開く年です。NHK特集—土佐・四万十川—で全国で紹介されて以来15年、一過性のブームに終わることなく、今なお全国的に高い評価を得ているのは、「日本最後の清流」に負うところ大ですが、清流や自然だけでは、これだけ長く人気が続いていないのではないのでしょうか。

流域には緑あり、魚あり、清流あり、沈下橋あり、そして素朴な人がいる。人々の生活が自然に溶け込み、自然が人々を包み込んでくれている地域。だからこそ、JRグループのフルムーンポスターの撮影場所にも選ばれたのでは？



【宝酒造（株）提供】

四万十川は索漠とした現世の一滴の清涼剤であり、流域は心のふるさととして、失われつつある「いなが」の風情を今なお残してくれております。

四万十川は先祖から預かった自然の宝物。子供たちへの自然の贈り物。

しかし、油断は禁物です。今春の明石大橋の開通や平成11年度の尾道・今治ルート完成に加え、高知・愛媛双方から流域に高速道路が伸びてきております。今後、訪問者は増加の一途をたどり、反比例するかのよう、清流も人々の素朴さも失われる恐れがあります。このため、予防的視点から2000年度を目標に、保全のための仕組みづくりを進めております。

清流通信「四万十川物語」は、本年も流域の自然、生き物、人、暮らし情報などをタイムリーに紹介し、新しいページを刻んでまいります。

### — 四万十情報 —

#### 四万十フレンドシップ倶楽部

昨年7月の募集開始以降、四万十川に思い入れをもってくださっている、500人以上の個人や法人の方々の入会があり、四万十川への熱い思いや今後の取り組みに対する意見・提言などが多数寄せられています。  
(継続して会員募集中)

【今後の活動予定】

- 会報誌（H9年度分）の発行（1月末）  
会員の皆さん一人一人が、何ができるかを一緒に考えていく機会にしたいと考えています。
- 会員交流会の開催（2～3月：於 愛知・東京）  
会員相互の交流の場を設けます。

#### 四万十川清流の森づくりキャンペーン

山・川・海のつながりを大切にし、清流保全是山づくりからと、昨年度、源流点の東津野村からスタート。今年度は中流域の窪川町で実施します。

- 日時：平成10年3月1日（日）
- 場所：高知県高岡郡窪川町平串
- 参加者：流域内外の親子  
森林や漁業関係者など 約600人
- 内容：植樹体験—広葉樹 約4000本  
講演会・クイズ大会等（予定）
- 主催：四万十川総合保全機構（流域8市町村）

※問い合わせ先：四万十川対策室